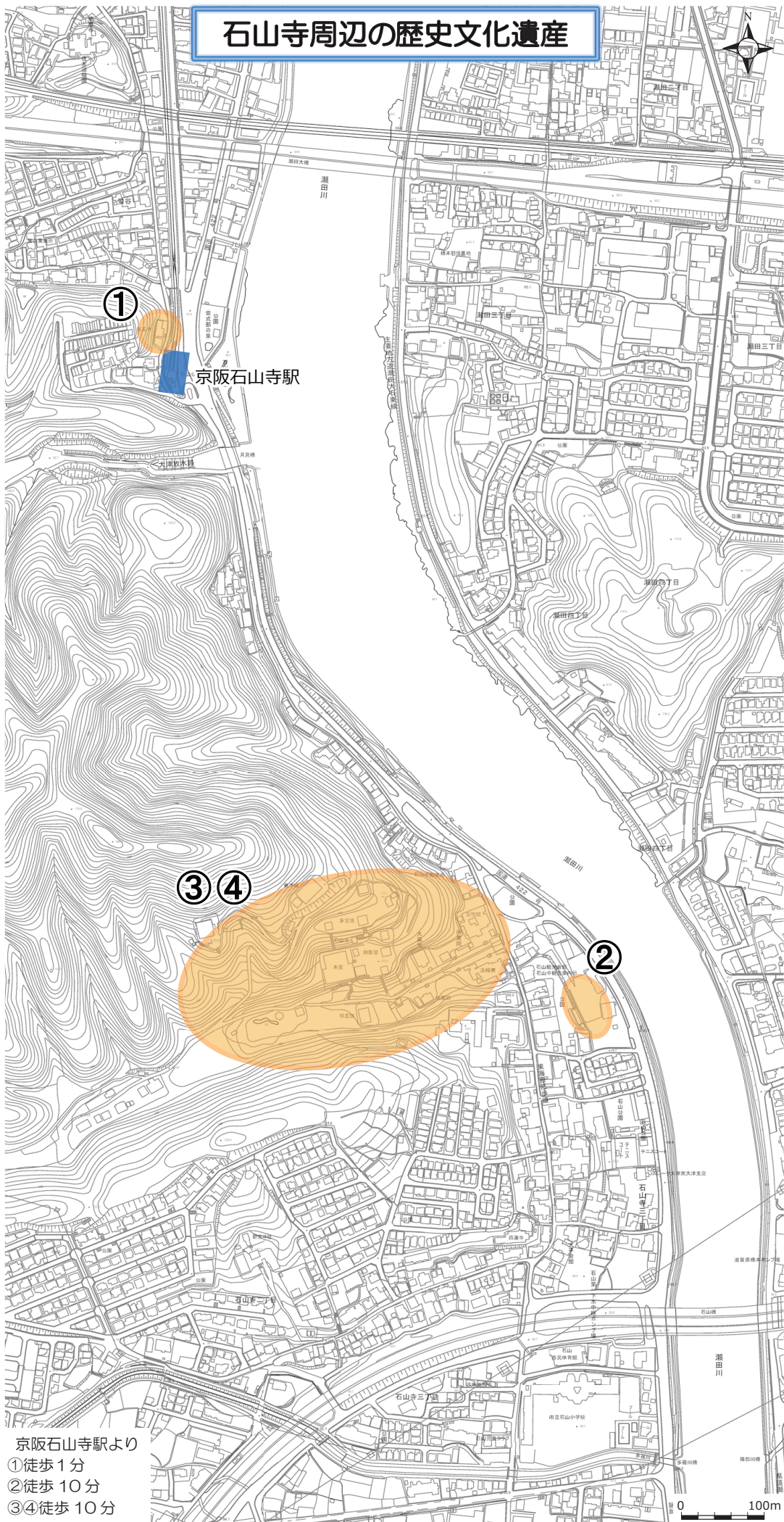


石山寺周辺の歴史文化遺産



① 荒痛薬師 (医王寺)

漁師が瀬田川から引上げた石で鎌を砥ぐと「あら痛や」という声をした。よく見ると薬師如来であったため、堂を建て、お祀りしたと言われる。また、安産のご利益があるとされ、乳の出ないときには拝むといいと言われている。

② 石山貝塚 (市史跡)

縄文時代早期を中心としたセタジジミを主体とする淡水産貝塚。東西約 50m、南北約 60mの範囲に、約 2mに及ぶ貝層が堆積する。貝層中から石組炉や屈葬人骨なども検出された。貝類のほか、コイやフナなどの淡水魚や獣類、鳥類なども出土した。観光協会では貝層の剥ぎ取りを展示。

③ 近江八景「石山秋月」

15世紀に京都の文人たちによって中国の名勝瀟湘八景になぞらえて、近江八景が見出される。江戸時代はじめごろに、現行の近江八景(比良暮雪、堅田落雁、唐崎夜雨、三井晚鐘、粟津晴嵐、矢橋帰帆、瀬田夕照、石山秋月)となった。

④ 石山寺

良弁がこの地に草庵を営んだのが石山寺のはじまりと伝え、平安時代には観音靈驗地として貴族の信仰を集めた。紫式部がこの寺で『源氏物語』を執筆したとの伝承があり、西国三十三所観音巡礼の札所のひとつとなっている。国宝の本堂や多宝塔など貴重な文化財を数多く伝えているが、膨大な經典や聖教を伝える学問の寺でもある。拝観有料。

京阪石山寺駅より

- ① 徒歩 1分
- ② 徒歩 10分
- ③④ 徒歩 10分